2014年度現代ビジネス学科教育課程表(2010年度から2013年度入学者に適用) 「経営とマーケティングを学ぶコース1

	使現代ビジオ			∓次 2セメス			3セメス		2年				<u>とマーケティ</u> 5·7セメ		3.4	年次 6·8セメ	スター		卒要
	授業科目	単位	担当者			担当者			担当者			担当者			担当者		_	担当者	単
学科基本科目	経済入門 基礎簿記 経営学 日本経済論 流通論	2 2 -	専作 第小三加 化磨新八中教 下林島寛 塚章太家橋田	基礎会計 経営学 日本経済論 流通論	2 2 2	*1 林島寛 塚章太家橋田						ψ	グローバル			グローバル			1 1
コー ス指定科目							経営管理論 経営史 中小企業論 非営利組織論 物流論 マーケティング 流通史	2 2 2 2	小 本山百姓大齊中 鬼 田山 通藤武優黒実田 沼 島	経営組織論 経営史 中小企業論 協同組合論 物流論 マーケティング 流通史	2 - 2 - 2 - 2 - 2	,	マーケティング 経営財務論 経営戦略論 広告論 交通論 消費文化論 人的資源管理論	2 2 2 2 2	丸 小本() 藤 三中 () 上 ()	マーケティング 経営財務論 国際商務論 広告論	2 2 2 2 2	丸 小本 中 及高藤井 三中 日本	36単位以上
コース科目	経済史 経済情報処理 経済地理 コンピューク概論	2 2 2 2 2	松稲中 *2 楼三 児	ミクロ経済学 経済史 経済情報処理 経済地理	2 2 -	吉大松稲中 2 楼三	マクロ経済学 アジア経済演論 管理会計論 財政学 財務会計論 財政学 財務会計論 対立学 財務会計論 対立学 財務会計論 対立学 関系記ュニケーション 関 別議議議論 関 関 別議議議論 関 関 別 関 別 関 別 関 別 関 別 関 別	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	戸田(壯) 萩原 奥山(茂)	金融論 アジア経済論 アメリカ経済論 コストマネジメント論 財政学 連結会計論 社会経済学 商法概説 論 貿易語ュニケーション 貿易の論	4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	酒 菅 田萩山中五森池続岡川玉中松金柳稲 吳川中 鳴井 原 壯原茂弘嶋田上橋村村手川橋尾澤津 智野 瀬	国際会計論会計制度論語、日本の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	四清休浅緑 数本荒水荒 蓮田田講井川 阪崇畑 山畑 見	会計社会学 税務会計論 外国為替想史 国際と迎ネススコン 証券市場論 国際とジネススコン 証券市場論 国際とジネススコン 証券に関係を 第二上保険論 海上保険論 第二中のバ経済論 保険論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	P * 清末木浅 綠 與 本荒 李 秋 荒 蓮 数 首雕 5 田定村井川 阪 崇畑 山 畑 見 阪 藤	
選択科目	経済外国語A 経済外国語C 初等経済数学 民法概説	2 2 2 2 4	【妖繭】 坂魔 島田(博)	経済外国語D 初等経済数学 民法概說 民法概說	2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 4	後吉休講] 「休講」原 島田(博) 石川(信)	開発経済中史 経済等學英語(会話) 経済等等英語(会話) 経済等等英語(会話) 経済等等英語(会話) 経済等等英語(会話) 経済等等英語(音) 社会会経 経済 中口本字/多 経済 神 中日本字/多 経済 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	松族甲族鳴藤內吉星大。小川保守,則時瀬村藤岡野江。浩	経済政策 開経済学史 経済等学史 経済等等 (会話) 経済等等 (会話) 経済等等 英語(会話) 経済等等 英語(会話) 経済等等 英語(会話) 経済等等 英語 社会会経経 介 り口史 卑鄙 子の 2 経 経 経済 ア 中 版 承 経 経 経 ア の 2 経 経 済 学 中 版 承	4 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	小川 北松藤中藤 鳴藤内玉星大 * 1川 本松藤中藤 鳴藤内玉星大 * 1川 本田 本田 本田 本田 本田 本田 本田 本		(4年	(兼条森大 休渡三的小後直西睦横士 のの計算が、原田滝 講部浦場島藤井原月川屋 履履	現代の経済問題 現代の経済学院を持ち、 現代の経済学館 は大経経済学館 は地方財政論 済論 は地方財政論 済論 は地方財政論 済論 の理経済論 は理経済論 に対済 が対済 が対済 が対済 が対済 が対済 が対	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	渡森氏で、河川・出森川。 子森森大 休渡三的小後直西睦横 等野畑 部隆川川-津州雲泉村6 県東田滝 講部浦場島藤井原月川 県他他師	
(英語) 関連科目	憲法概說 日本史概論 外国史概論 地理学(含地誌) 地誌学概論 人文地理字概論 自然地学概論 哲学概論	2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 ·	白田城井本橋井川横井井 服山麓 中城井本橋山誠明山智 史部守美 原田 明明山智 史部守美	地理学(含地誌) 人文地理学概論 自然地理学概論 社会学概論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	前田(禎) 坂井 坪井(祐) 山本(信)	国際法 職業指導 政治学原論	2 2 2		行政法 国際法 職業指導 政治学原論	2 - 2 - 2 - 2	嘉藤山崎		2 2 2 2	山田(徹)	国際政治学 西洋政治史 日本政治史	2 2 2	玉 置 山田(徹) 橘 川	

^{*1} 岡村, 興山(茂), 戸田(龍), 田中(弘), 木村 *2 奥田, 児玉, 内村, 工藤, 山本(雄), 橋本, 七宮, 星野, 藤森 *3 平川, 姜, 曾原 *4 平川, 谷川, 藤村

^{*5} 戸田(龍),田中(弘),井上,市川(琢),字久田,今田,早川,宮澤,四方田,宮下,村上 *6 佐藤(孝),小山,三島,山本(崇)

「備考〕教育課程表中、 印は2012年度以前の入学者が履修することが出来る科目、 印は2013年度の入学者が履修する ことが出来る科目を示す。

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は,重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は,それぞれ22単位を上限とする。 ただし

長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。

卒業年次生に限り、特別に学部長の許可を得た者はこの限りでない。

資格教育課程に関する科目,教職課程の「教職に関する科目」及び「キャリア形成科目」の単位数はこの上限 単位に含めない。

通年科目を履修した場合は,その科目の単位数を二分割し,前期・後期それぞれの学期の単位数として換算する。

- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナール」は2年次、「経済ゼミナール」は3年次、「経済ゼミナール」は4年次で履修するものとする。6 「インテンシブ・プログラム〔英語〕」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。
- 7 「経済情報処理」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。

- 2年次の第3セメスター履修登録時に「貿易と国際ビジネスを学ぶコース」「経営とマーケティングを学ぶコース」 「企業と会計を学ぶコース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次の第5セメスターの履修登録時に「コース変更届」により申請し、許可を得な ければならない。

[学外単位認定制度]

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は,本学における授業科目の履修とみなし,卒業要件単位に算入すること ができる。なお,横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は,各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし, 2012年度以前の入学者については,各セメスターの履修制限単位数には含めない。 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。

- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で,本学における所定の手続 きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で,本学の授業科目として認定された単位。

[卒業要件]

1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業		7	<u></u>	通	科	目			共						専	_	<u></u>
科目		外国		教	養	系	科	目		専	攻		科	目	守	自	合
	F	科	目	狄	R	- 水	17		通		_				攻	由	
		^ 第	第	+	人	社	自	健	,	学	ļ	コ	選	関	-53	選	
	\ <u>\</u>	英一	=	IJ	文	会	然	康科	科	科		- 1	+	関 連 科	科		
	Y	外外	外	ア	o o	o O	 の	科学		基	ス指定科	ス	択	月		択	
				形式				か	目	本	是		科	_	目	科	
	S	語国	玉	成科目	分	分	分	分		科	科	科	1 1	8	±1.		±1
入学年度		→ 語	語	目	野	野	野	野	計	目	目	目	目	可	計	目	計
2040年度	2	6	4		4	4	4		24	10	36		70	•	0.4	10	
2010年度 以降入学者		1	0	1		2:	2		34	12		1	72		84	10	128
以解八子首																	

- 2 共通科目のファースト・イヤー・セミナー(FYS)2単位を修得すること。
- 教養系科目から22単位以上(人文,社会,自然の各分野の4単位を含む)を修得すること。 ただし、「キャリア形成科目」の単位は「卒業要件単位数」に算入しない。

また,教養系科目のうち「健康科学」の「スポーツ文化 ・ ・ 」については,2単位まで「卒業要件単位数」に 算入できる。

- 第1外国語として,英語6単位を修得すること。
- 外国人留学生は申請により,英語に換えて日本語を第1外国語とすることができる。 第2外国語として,第1外国語以外の外国語(同一語に限る)又はインテンシブ・プログラム〔英語〕の科目より4 単位以上修得すること。ただし,外国人留学生は母国語を除く。 専攻科目から84単位以上修得すること。ただし,次の単位を修得しなければならない。
- - (1) 学科基本科目から12単位以上修得すること。
 - (2) 各自が選択したコース指定科目を36単位以上修得すること
 - (3) コース指定科目(各自が選択した36単位を含む),コース科目及び選択科目から72単位以上を修得すること。 ただし、関連科目は8単位まで選択科目に換算できる。
 - (4) 学科基本科目の「卒業要件単位数」を超える単位はコース指定科目に換算できる。
- 7 自由選択科目の単位として,10単位以上を修得すること。

 - 自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。 (1) 全学共通科目(キャリア形成科目を除く)及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教職に関する科目」の単位。ただし,教職課程登録者のみ履修でき,6単位を上限して自由選択科 目に算入できる。
 - (3) 他学部,他学科開講の専攻科目の単位。ただし,他学部他学科が受講を認めない科目については,履修するこ とはできない。

─ 教育課程における標準年次の区切線について·

標準年次が実線()で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できません。 標準年次が破線(…………)で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。